

ヨーロピアンサボイ90

内部まで縮みが細かく入る晩生サボイキャベツ



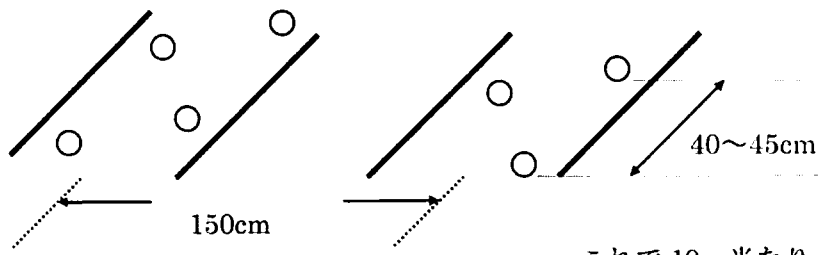
品 種 特 性

- 一般地の年内・早春どりに適する。
- 定植後90～120日で収穫となる晩生品種。
- 球重は1.5～2kgの大玉となり、形は球形。
- 葉色は灰緑色で、球面と球内まで細かい縮みが入り内部は鮮黄緑色。
- 裂球が遅く、在圃性が高い。
- 耐寒性が強く、霜害を受けにくい。
- 主に欧州で栽培され、煮込み料理などに利用されている品種。

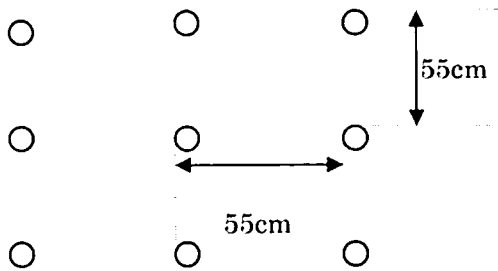
栽 培 の 要 点

- 育苗は軟弱徒長をさせないように、夜間は乾き気味の水管理を行う。
- 湿害に弱いため高畝とする。定植は夕方に行い、乾燥している場合は定植後十分灌水する。

- 通常のキャベツより外葉が大きいため、株間を広くとり、栽植密度は 10a 当たり 3,000～3,500 株とする。



これで 10a 当たり 3,000～3,300 株です。



これで 10a 当たり 3,330 株です。

適作型

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
冷涼地		●	▲			■						
一般地			●	▲						■		

● 播種 ▲ 定植 ■ 収穫期

施肥例

- 栽培期間が長いため、肥料は元肥を全体量の半分施し、残りは追肥で 2～3 回に分けて行う。施肥量は窒素が 10a 当たり 20～25kg。

元肥 有機化成 NN 1 2 1 (10 - 12 - 10) 6袋
 追肥 追肥化成 NN 3 3 0 (13 - 3 - 10) 4袋
 (成分量 N : 22.4kg P : 16.8kg K : 20kg)